中山 11R

発走 15：40

第46回 スプリンターズステークス（GⅠ）

（3歳以上、オープン・国際・指定・定量）

（WIN5対象レース・5）

芝1200

スプリSレコード 1分07秒0 トロットスター 57 岩田 13年

〔今回推定タイム〕 良 1分07秒台 重 1分08秒台

枠番	馬番	馬名	性齢	騎手
桃8	16	ロードカナロア（母父キングカメハメハ）	牡5	岩田
	15	エピセアローム（母父ダイワメジャー）	牝5	武豊
橙7	14	カレンチャン（母父クロフネ）	牝5	池添
	13	ダッシャーゴーゴー（母父サクラバクシンオー）	牝5	横山典
緑6	12	キャプテンオブヴィアス（母父ヴェルグラシャート）	牝6	チャベス
	11	パドトロワ（母父スウェプトオーヴァボード）	牝5	安藤勝
黄5	10	ブルーミンバー（母父ファルブラヴ）	牝7	松岡
	9	サンダルフォン（母父サクラバクシンオー）	牡9	酒井学
青4	8	スプリングサンダー（母父クロフネ）	牝5	四位
	7	リトルブリッジ（母父ドバウイ）	牝6	パートン
赤3	6	エーシングヴァーゴウ（母父ファルブラヴ）	牝5	内田博
	5	ラッキーナイン（母父ドバウイ）	牝5	ブレブル
黒2	4	サンカルロ（母父シンボリクリスエス）	牝6	吉田豊
	3	ドリームバレンチノ（母父ブライアンズタイム）	牝5	松山
白1	2	フィフスペトル（母父ロージズインメイ）	牝6	蛯名
	1	マジンプロスパー（母父キングカメハメハ）	牝5	福永

本紙の見解

カレンチャンは短距離重賞5勝。スプリンターズS、高松宮記念も制しており、日本の№1スプリンター。昨年の1馬身4分の3は最近5年の最大着差でもあり、V2の公算は高い。

ロードカナロアは芝千二〔6210〕。高松宮記念は荒れた最内を通らされての0秒1差、前々走は直線の不利、前走は体調一歩。負けた3戦すべて敗因があり、まだ底を見せたわけではない。前走からの変わり身は大きく、逆転の目もある。

ラッキーナインは昨年不利あって の⑤着。香港スプリント快勝の実力は侮れず、来日3度目の今回は真価発揮も十分。ただし、セントウルSを使った昨年に比べ、中間調整に手間取っている点少し不安材料もある。

リトルブリッジは、目下3連勝と勢いに乗っての来日。ティング120も、日本馬を含めての連すぎる馬場への適性がカギになるが、勝って不思議ない実力馬であることは確か。

パドトロワは昨年の②着馬だが、サマー・チャンピオンに輝いた今年さらに地力強化なっている。今年のメンバーならマイペースの逃げもあり、要注意。

サンカルロは、短距離GⅠ④③②⑦②着。ここ目標のローテーションだけに、前走の凡走は度外視可能。稽古内容は一変。

ダッシャーゴーゴーも、ここ目標に調子を上げている。上位陣との力差はわずかで、流れに乗れれば圏内突入。

【単有望】

中山芝1200 向正面奥から一気に駆け降り、前半速いのが特徴。

柏木の単複連

昨年、まだ完成途上ながら1分07秒4で約2馬身も抜け出したカレンチャンは、今期、確実にスケールアップしている。短距離GⅠ3勝は目前、この枠ならもまれない。

単 ⑭ 複 ⑮

⑭⇄⑮ ⑭⇄⑪ ⑮→⑪ ⑭→⑯ ⑭→⑦ ⑭→⑬ ⑭→⑤

血が騒ぐ 山野浩一

尖閣諸島にしても、竹島にしても無人島なのだから、ドイツ人が多数居住していたダンツィヒの帰属を巡ってヨーロッパが第二次大戦に突入したのとはかなり意味が違う。純粋に経済問題ならアメリカがカリフォルニアをメキシコから金で買ったように、それなりの解決策はあるはずだ。要するに国の威信をかけた争いなのだろうが、威信を発揮するにはスポーツというものがあり、この状況下でも尖閣諸島問題の火付け役となった中国香港特別行政区から遠征馬を迎えることができたのは喜ばしいと思う。しっかり声援を送りたい。

ラッキーナインは日本の馬場での実績は十分で、昨年のセントウルSのように久々のレースで強い。

レース展開

【日本の有力馬が外枠を引いて紛れる可能性もあるが、カレンチャンは好位確保なら堅実。昨年不利⑤、鋭脚③の内差し注】

逃げ 好位 中団 後方

内 ①⑫⑤ ⑥⑩ ⑬ ⑮ ③ ⑧ ④ ② ⑨ 外 ⑦⑯⑭

ハイペース

3連複

5 14 16
7 14 16
11 14 16
4 14 16
13 14 16
5 7 14
5 11 14
4 5 14
5 13 14

11R 馬単

14⇄16 14⇄5 14⇄7 16⇄5 14⇄11 14⇄4 14→13

3連単フォーメーション

1着 14
2着 4 5 7 11 13 16
3着 4 5 7 11 13 16
(30点)

データ

攻め馬状態	最近の成績	距離の適性	過去の実績
14	11	16	14
15	15	14	5
11	16	3	7
16	12	11	13
6	13	5	4

JRA中間発表 馬番連勝オッズ（午前10時現在）

馬番	1	4	16	8
1				37.6
2	154.3	233.9		
3	132.8	311.6	914.9	
4	126.3	223.1	539.4	
5	127.1	194.6	101.1	
6	248.4	1571.2	558.2	
7	123.3	1138.2	108.5	
8	104.9	129.7	40.6	
9	909.2	708.6	108.2	
10	726.4	159.4	68.2	
11	56.5	49.1		9
12	531.5	134.3	1225.0	
13	93.5	75.2	1225.0	
14	30.4		3804.0	
15	87.2	280.2	1129.3	
16	35.5	74.1	549.7	
2		167.0	1175.3	
3	231.0	9700.6	749.0	
4	234.7	996.9		10
5	187.8	80.6	651.2	
6	442.1	353.5	1571.2	
7	251.0	114.2	807.6	
8	228.4	34.8	256.3	
9	876.1	95.7	698.4	
10	1010.9	44.6	456.0	
11	165.8			6
12	794.3	453.2	284.6	
13	224.9	372.6	38.6	
14	66.9	1606.2	12.5	
15	204.5	1326.2	32.8	
16	94.2	253.2	18.1	
3		1537.8		12
4	195.9	293.9	464.8	
5	191.3	117.5	169.9	
6	278.6	260.5	410.7	
7	173.6	162.6	232.1	
8	148.9			13
9	920.7	139.7	19.5	
10	745.2	1829.8	48.9	
11	100.6	749.0	25.8	
12	654.1	53.4		14
13	110.1	267.7	15.4	
14	47.0	106.6	6.5	
15	124.0	23.9		15
16	54.6	69.4	17.2	

中山 芝→良～稍 / ダ→良～重

阪神 芝→稍～重 / ダ→稍～不

スタッフ予想

枠	馬番	馬名	脚質	騎手	数字
1	1	マジンプロスパー	逃げ	能勢	90
1	2	フィフスペトル	先行	内田博	86
2	3	ドリームバレンチノ	先行	横山典	92
2	4	サンカルロ	差し	吉田豊	89
3	5	ラッキーナイン	差し	内田博	88
3	6	エーシングヴァーゴウ	差し	福永	90
4	7	リトルブリッジ	逃げ	横山典	85
4	8	スプリングサンダー	差し	酒井学	82
5	9	サンダルフォン	差し	松岡	85
5	10	ブルーミンバー	差し	内田博	91
6	11	パドトロワ	逃げ	安藤勝	87
6	12	キャプテンオブヴィアス	差し	池添	91
7	13	ダッシャーゴーゴー	逃げ	横山典	91
7	14	カレンチャン	差し	武豊	87
8	15	エピセアローム	差し	武豊	86
8	16	ロードカナロア	差し	岩田	90

枠	馬番	馬名	当該成績	騎手成績
1	1	マジンプロスパー	4 2 0	4 2 0
1	2	フィフスペトル	3 1 0	4 0 0
2	3	ドリームバレンチノ	1 1 0	1 0 0
2	4	サンカルロ	3 0 4	12 3 1
3	5	ラッキーナイン	5 4 11	6 6 2
3	6	エーシングヴァーゴウ	5 2 1	6 2 1
4	7	リトルブリッジ	4 4 0	4 0 0
4	8	スプリングサンダー	4 2 1	4 0 0
5	9	サンダルフォン	4 2 1	4 0 0
5	10	ブルーミンバー	7 1 1	1 1 1
6	11	パドトロワ	初	初
6	12	キャプテンオブヴィアス	騎	騎
7	13	ダッシャーゴーゴー	1 1 0	1 1 0
7	14	カレンチャン	6 1 2	6 1 2
8	15	エピセアローム	6 0 3	6 0 3
8	16	ロードカナロア	6 0 1	6 0 1

枠	馬番	馬名	連対率	最高	最低	時体重	前体重
1	1	マジンプロスパー	502	478	488	534	560
1	2	フィフスペトル	480	454	470	502	524
2	3	ドリームバレンチノ	532	488	544	448	525
2	4	サンカルロ	518	470	514	426	505
3	5	ラッキーナイン	472	500	504	490	460
3	6	エーシングヴァーゴウ	456	480	486	462	444
4	7	リトルブリッジ	512	488	460	512	488

単勝

①	13.7	⑥	46.1	⑪	9.6	⑯	6.7
②	26.8	⑦	15.1	⑫	67.6	⑰	
③	23.7	⑧	11.9	⑬	13.2	⑱	
④	26.6	⑨	105.7	⑭	2.8		
⑤	21.2	⑩	99.5	⑮	7.7		

枠連（午前10時現在）

	1	2	3	4
1	199.9	149.0	230.8	107.7
2	44.2	62.4	39.8	146.3
3	52.1	39.8	135.1	25.3
4	36.7	103.8	38.1	11.1
5	154.7	58.1	20.0	14.8
6	39.3	18.5	22.6	5
7	15.8	22.5	6	791.7
8	18.0	7	204.0	131.6
	8	6	18.8	58.6
	19.6	7	4.1	35.9

馬連（午前10時現在）

	1	2	3	4	5	6	7	8
1		11.6	9.6	8.4	10.2	8.4	9.9	10.9
2	154.3		132.8	126.3	127.1	248.4	123.3	104.9
3	233.9	311.6		223.1	194.6	1571.2	1138.2	129.7
4	914.9	539.4	101.1		558.2	108.5	40.6	108.2
5	1225.0	1225.0	3804.0	1129.3	549.7	1175.3	749.0	68.2
6	280.2	1571.2	807.6	256.3	698.4	456.0	284.6	38.6
7	74.1	14	167.0	1700.6	996.9	651.2	807.6	12.5
8	80.6	651.2	1129.3	807.6	256.3	698.4	456.0	32.8
9	353.5	1571.2	807.6	256.3	698.4	456.0	284.6	18.1
10	114.2	807.6	256.3	698.4	456.0	284.6	38.6	464.8
11	34.8	256.3	698.4	456.0	284.6	12.5	32.8	169.9
12	95.7	698.4	456.0	284.6	38.6	410.7	232.1	19.5
13	44.6	456.0	284.6	38.6	12.5	32.8	18.1	48.9
14	453.2	284.6	38.6	12.5	32.8	18.1	464.8	25.8
15	372.6	38.6	12.5	32.8	18.1	169.9	410.7	232.1
16	1606.2	12.5	32.8	18.1	464.8	19.5	48.9	6.5

枠	馬番	馬名	単勝オッズ	人気
1	1	マジンプロスパー	9.6	4
1	2	フィフスペトル	11.9	5
2	3	ドリームバレンチノ	13.2	6
2	4	サンカルロ	2.8	1
3	5	ラッキーナイン	7.7	3
3	6	エーシングヴァーゴウ	15.1	7
4	7	リトルブリッジ	46.1	11
4	8	スプリングサンダー	26.6	9
5	9	サンダルフォン	21.2	8
5	10	ブルーミンバー	13.7	10
6	11	パドトロワ	67.6	12
6	12	キャプテンオブヴィアス	105.7	14
7	13	ダッシャーゴーゴー	99.5	15
7	14	カレンチャン	23.7	13
8	15	エピセアローム	26.8	16
8	16	ロードカナロア	13.7	17

【⑪レースつづき】

確定後直前情報

1 マジンプロスパー

▼中山も問題ない
○中尾秀師＝最内枠だが、ジョッキーが考えて乗ってくれると思う。坂のある阪神や中京に実績があり中山も問題ないし、長距離輸送も大丈夫。
【評価】今季重賞2勝・高松宮記念⑤着。前走果敢にハナ切って失速も0秒6差。連下。

2 フィフスペトル

▼器用な馬で内枠OK
○加藤征師＝昨年は0秒5差だが、直線入口で捌けていればもっと際どかった。出たなりの競馬ができる器用な馬なので枠も問題ないし、ここ1カ月は速いタイムで好仕上がり。楽しみだ。
【評価】2歳以来の千二だった昨年が⑥着。マイルGI②着2回と地力あり、穴の資格。

3 ドリームバレンチノ

▼ロスなく運べる内枠歓迎
○牧野助手＝使って本来の気合が戻ったし、動きも満足のいくもの。ロスなく運べる内枠はいいので、GIでも楽しみ。
【評価】立ち回りの利があったとはいえ2走前に⑯撃破。前走が不発でも注意は必要。

4 サンカルロ

▼動きは変わってきた
○大久保洋師＝外枠の方が割と成績が良いのは確かだが、最近のゲートの感じなら内枠でも問題ないはず。使った効果＋涼しくなったことで動きは明らかに変わってきているし、荒れてきた馬場も歓迎。巻き返しに期待。
【評価】内々でスムーズだった前走が④着。スプリントGI④③②⑦②着の強豪だが、過去はすべて前哨戦⑤着以内。

▼希望通りの枠

5 ラッキーナイン

○ファウンズ師＝休み明けで好走する傾向があるので、今年は直接スプリンターズSへ。5番は希望通りの枠。これからレース展開や他馬のことも含めて作戦を考える。
【評価】昨年は直線不利あって⑤着。来日前に順調さ欠いて急仕上げの感あるが、昨暮れ香港スプリント勝ちが光る。

▼バラければ内枠でも

6 エーシンヴァーゴウ

○畑助手＝隣に馬が来るとハミを噛むので外の枠が良かったが、昨年（③着）と比べても遜色ない状態。バラけてくれれば、この内枠でも問題ないと思う。
【評価】昨年は夏重賞①③①着から当レース③着。今年も近走小差とはいえ、勢い見劣る。

▼調子を上げている

7 リトルブリッジ

○シャム師＝英国から香港に戻った時の検疫が長く調整は難しかったが、早めに来日して調子を上げている。作戦は土日の競馬を見て、騎手と相談して決める。
【評価】前走・英国でGI初制覇。持ち時計は外国3頭で最下位だが、目下3連勝と勢いがあり、レーティング120は出走メンバー№1。

▼ここでも決め手は上位

8 スプリングサンダー

○昆師＝後ろから行く馬なので枠順は気にしていない。気持ちが乗って状態もピークに近い。ここでも決め手は上位なので、展開が向けばチャンスはある。
【評価】末脚は破壊力抜群。ただ、今の中山芝でGIともなると前は簡単に止まらない。

▼上がりのかかる展開なら

9 サンダルフォン

○松永幹師＝外から自分のタイミングで動いて行きたいので外枠が良かったが、うまく外に出して脚は使って欲しい。上がりがかかる展開になれば。
【評価】過去の当レース⑨⑪⑫③着。重賞でも10年北九州記念③着以降、すべて掲示板外。

▼ためればいい脚を使う

10 ブルーミンバー

○加藤征師＝ためればいい脚をしっかり使える馬。枠もちょうどいい。鉄砲駆けする、高速馬場歓迎。中山でも後の重賞勝ち馬に勝っているし、相手は強くなるけれども期待したい。
【評価】重賞はGIII⑬⑤着があるだけ。GIでは見劣る。

▼今回も積極策

11 パドトロワ

○鮫島師＝ハナにはこだわらないが、今回も積極策。真ん中よりも外の枠になったが、二の足が速いから問題ない。状態に関しては何の不安もない。
【評価】昨年②着馬だが、夏のスプリント重賞勝で昨年の以上の勢いがある。要注意。

▼馬体は回復

12 キャプテンオブヴィアス

○ハリソン助手＝木曜夜からカイ食いが良くなり、馬体が回復してきた。もう少し内の枠が欲しかったが、ハイペースなら後ろに控えることもできる。
【評価】GIはマレーシアGI2勝のみ。昨年④着だった同じ星国・ロケットマンより格は下。右回りコースは初。

▼中山で一瞬の脚を生かす

13 ダッシャーゴーゴー

○安田隆師＝内枠でロスなく運ぶのが理想だが、状態は思っていた以上にいい。中山でもまともに走れば結果を残しているし一瞬の脚を生かせるコース。
【評価】昨年がハナ差2位入線・降着。善戦止まりのレースなら続きだが、近3戦の内容からも立ち回りひとつで浮上。

▼前走以上の状態

14 カレンチャン

○安田隆師＝前回の馬体増は成長分で、長距離輸送で減っても大きくは変わらないはず。前走以上に力を出せる状態で臨める。
【評価】昨年の勝ち馬。前走は高松宮記念①着以来で馬体重＋22キロ、さらに前半行きたがったぶん最後失速。前哨戦としては合格点、巻き返す。

▼外枠でも楽しみ

15 エピセアローム

○桑村助手＝落ち着きはあり、カイ食いも安定。北九州記念の時と同じ外枠で乗ってくれるのは心強く、楽しみ。
【評価】前走は好騎乗も光ったがスプリント能力高い。他馬との上昇度の差と、外枠が鍵。

▼通用する力は持っている

16 ロードカナロア

○安田隆師＝スタートが速いので大外枠でも大きなロスはないと思う。使って筋肉の張りや毛づやが良くなっているし、GIで通用する力を持っている。
【評価】（6410）で③着が高松宮記念の0秒1差だからスプリント重賞勝で昨年の文句なしの安定感。上位争う。

馬名欄左下の［西］表記は、関西馬を示します。

中山11R 馬単

編集長の目

▼種牡馬クロフネ（父フレンチデビュティ。14歳）は、毎年200頭前後の交配数を記録する人気種牡馬の1頭。
現役時、NHKマイルCを猛然と伸びて1分33秒0で差し切り、同じ千六の武蔵野S（ダート）を、1分33秒3で独走のパワーとスピードを誇った▲

▼初年度の産駒が4歳に達した07年以降の総合種牡馬成績は《⑩⑤⑤③②③位》
まだ自身とダブるような超大物は送っていないが、数多くの産駒が全国で丈夫に、かつ堅実に走っている。
父と同じようなダート巧者もいれば、芝向きの産駒もいる▲

▼血統はまるで異なるが、初期のフジキセキ（父サンデーサイレンス）と似たようなイメージがなくもない。交配するのに、凡馬を送る危険がきわめて少ない「秀才型」であり、平均点が高いのである。
ダート戦限定ランキングは、《②②①①③③位》
芝向きではないと判明したらダートで埋め合わせができるのが、種牡馬クロフネである▲

▼だが、大物が少ないとされたフジキセキが、やがてカネヒキリ、キンシャサノキセキ、ダノンシャンティ…などを送り、年ごとに評価を上げたのと同様、クロフネも大物を輩出しないように見せつつ、そうではないことを示し始めた▲

▼現在までの稼ぎ頭は、スプリンターズS2連覇を狙う**カレンチャン**。08年の勝ち馬スリープレスナイト。今年のヴィクトリアマイルを制したホエールキャプチャがベストスプリンターズSには、伏兵**スプリングサンダー**もいて、ほかに思い浮かぶのは、ユキチャン、ブラボーデイジー、オディール…。なぜか「牝馬」ばかりが光っている。
母の父（ブルードメアサイアー）としてクロフネの優秀性を示す出世頭は、カラフルデイズ（関東オークス）、アイスフォーリス（オークス③着）、メダシ（チューリップ賞③着）がトップ3であり、やっぱり牝馬。
クロフネに逸材を送る種牡馬は素晴らしい。生産頭数が減少する現在（世界でも）、クロフネは繁殖牝馬の総体レベルを高める役割りを受けもち、生産頭数減にともなう全体のレベルダウンを防ぐのである▲

〔柏木〕

――グリーンチャンネル解説者――

黒津 紳一　桧原 正行

前哨戦のセントウルSは④着だが、力みが目立つリズムの悪い走りでも0秒1差だった**カレンチャン**。スプリントGI2勝の実績断然。ひと叩きされて定量55キロなら巻き返しがあって当然。
発表通りのひと回り余裕ある造り。加えて前半力んだ前回だが、脚いろ鈍ってからの。復帰戦としては納得できる内容だった**カレンチャン**。上積み十分、連覇に期待。

中山11R TMイチ推し ⑭カレンチャン

1回使って全面的に良化　本領発揮！

11R

	1600	1000	800	600	200	脚	いろ
1マジンプロ栗W良 △81.5		65.4	51.0	37.4	12.0⑥	一杯	追
21栗CW良助 手 ▲93.1		63.0	49.3	36.6	12.2⑥	一杯	追
26栗CW良助 手 ▲94.8		64.3	50.7	37.6	12.2⑧	一杯	追
→ 長めから追えるのは元気な証拠。前走以上可能。【B】							
2フィフスペ南W稍		66.6	51.7	37.6	12.7⑤	馬なり	
22南BW稍助 手		74.3	58.0	43.2	15.2⑤	馬なり	
29南BW稍助 手		72.7	56.2	41.0	14.3⑤	馬なり	
5南BW稍助 手		68.1	53.5	39.7	13.3⑧	馬なり	併
9南BW稍蛯		73.1	57.7	43.1	15.8④	馬なり	
13南BW稍蛯 名 △83.4		67.7	53.2	39.2	12.9⑧	末一杯	遅
21南BW稍蛯 名 △82.1		66.1	51.3	37.2	12.2③	G前追	先
26南BW稍助 手		68.2	52.3	38.1	12.3④	強めに	
→ 先週までのモタつき解消。反応良く9分通り。【B】							
3ドリームバ札ダ良 △82.0		65.7	52.1	38.5	11.9⑧	馬なり	
8栗坂松山 574 428 126馬なり			14栗坂松山 534 387 118強めに				
20栗坂松山 546 388 123一杯追遅			26栗坂松山 550 393 120強めに先				
（古1600サザンプレイズ強めで先行1馬先着）							
↗ 間隔があいていた前走時より気配はいい。要注意。【B】							
4サンカルロ 美坂 吉豊 —		36.7	12.0	馬なり先			
20美坂吉豊 439 139馬なり							
20美坂吉豊 537 367 122馬なり併			23美坂助手 585 420 141馬なり				
26美坂吉豊 415 137馬なり			26美坂吉豊 524 358 116G前追先				
（古500ブルッドストラーダ一杯3馬先着）							
↗ 追い出すと即座に反応。迫力満点で急上昇示す。【B】							
5ラッキーナ東芝良 △79.9		65.7	51.8	38.8	12.1⑤	馬なり	
28中山芝稍プレブル				46.1	13.2⑤	馬なり	
☆ 太め感なく仕上がった。多少硬く感じるが及第点。【B】							
＊ 18日に香港で実戦型調教。Aウェザー6F70秒55							
6エーシンヴァーゴ 栗坂 佐哲		51.8	37.3	12.6	一杯	追	
23栗坂助手 571 411 137馬なり			26栗坂助手 520 382 130強めに				
→ 稽古駆けとはいえ好時計。デキ落ちはなく順調。【B】							
7リトルブリッジ		69.8	53.2	39.5	13.1④	直一杯	
26中山ダ重調教師							
☆ 幅があって太く見えるが、いかにも短距離型の体。【B】							
＊ 1日に香港で実戦型調教。芝コース5F58秒19							
8スプリング南W良		66.3	51.3	37.5	13.0⑤	馬なり	遅
12栗坂助手 582 422 126馬なり			17栗坂助手 549 401 126馬なり				

20栗坂四位 504 372 127一杯追　26栗坂四位 540 386 127馬なり
↗ 先週50秒4の自己ベスト。直前も軽快で、好気配。【B】

9サンダルフ栗W重 △85.8	68.6	52.6	38.0	11.8⑦	一杯	追	
20栗CW稍助 手 △84.1	67.7	52.4	38.5	12.5⑧	一杯追	併	
23栗CW重助 手	73.9	57.5	41.8	12.7⑧	馬なり		
26栗CW良助 手 △83.1	66.5	51.5	37.8	12.4⑨	叩一杯		
→ 動き自体は悪くないものの、気配が変わらず平凡。【C】							
10ブルーミン南W良		53.3	39.0	12.8⑦	強めに		
12栗坂助手 523 384 123馬なり			17栗坂助手 565 416 135馬なり				
20栗坂助手 533 385 118G前強			26栗坂助手 514 374 120馬なり				
→ ここ目標に熱心に乗る。機敏な動きで気配は良好。【B】							
11パドトロワ南W良	66.7	51.4	38.2	12.9⑤	一杯	追	
12栗坂助手 576 429 149馬なり			17栗坂助手 573 422 146馬なり				
20栗坂安勝 538 390 129一杯追			23栗坂助手 557 403 132馬なり				
26栗坂安勝 517 379 129一杯追			28栗坂助手 612 429 140馬なり				
→ 体質が強くなり、今季の充実ぶりが光る。本調子。【A】							
12キャプテンオブヴ			38.6	12.1①	馬なり		
27中山芝良助 手							
☆ ゴール前で少し頭を上げたが、右回りOKの走り。【B】							
13ダッシャー南W良	64.5	51.0	37.9	12.4⑧	強めに		
9栗坂助手 557 406 137馬なり			12栗坂助手 525 384 125馬なり				
17栗坂助手 593 414 118末一杯			20栗坂助手 514 374 122一杯追				
23栗坂助手 611 436 122馬なり			26栗坂助手 525 380 122叩一杯追				
（古オークロードカナロア馬なりで先行半馬遅れ）							
→ 少し遅れたとはいえ伸び上々。追っての味は健在。【B】							
14カレンチャン 栗坂 北友	54.2	38.9	12.1	馬なり	遅		
21栗坂助手 — —	—馬なり		26栗坂助手 532 384 121馬なり先				
（古オークグレープブランデー一杯を追走半馬先着）							
↗ 中身の濃い併せ馬を消化。馬体も締まって万全。【A】							
15エピセアローム 栗坂 助手	52.3	37.9	12.5	一杯	追		
20栗坂助手 569 419 142馬なり			26栗坂助手 522 392 125一杯追				
→ 今週の馬場で52秒台前半は速い。さらに上向き。【A】							
16ロードカナロア 栗坂 助手	54.3	39.0	12.1	馬なり	先		
21栗坂助手 546 395 121馬なり			26栗坂助手 517 378 122馬なり先				
（古オークダッシャーゴーゴー一杯を追走半馬先着）							
↗ 追えばもっと伸びた。叩いて動きも馬体も良化。【A】							

10月7日 東京 毎日王冠

《ニューポリトラック馬場》

美浦トレセンの南Cコースが、内側を芝、外側をニューポリトラック馬場（表記＝南CP）に分割された。ポリトラック部分の幅員は15m、1周は内側＝1858m、外側＝1938m。材料は、電線被覆材、ポリエステル不織布、ポリウレタン繊維、珪砂（けいしゃ）、ワックスなどを混合した物で、優れた排水性を持ち、降雨による馬場悪化が少なく、ほぼ良馬場状態を保てる。クッション性にも優れ、走行時のキックバックが少ない。グリップ力があって滑りにくいため、故障の軽減に期待できる。

競馬人情 吉川良

「秋のGI開幕、スプリンターズS！」ってわけで中山競馬場へ出かけるのだが、気分に引っかかっていることがある。
関東馬はサンカルロ、フィフスペトル、ブルーミンバーの3頭。なんだか、おれ、関東の生まれ育ちとして、さびしいのだ。
それにしても、前日のシリウスSにグレープブランデー、そしてスプリンターズSにカレンチャン、ロードカナロア、ダッシャーゴーゴーを走らせる安田隆行厩舎には盛大な拍手を。まるで今週は、安田隆行厩舎まつりではないか。
安田隆行厩舎の3頭で3連単を組み合わせ、むろん3連複も買うさ、という友だちが何人もいる。こんなこと、なんたにならいが、かなりの確率で安田トリオのワンツースリーの可能性がある。
そうなると、おれの曲がっているヘソが、なんかブツブツ言いだした。よく聞いてみると、「フィフスペトルを買っちまえ。それにパトルブリッジ、パドトロワ、エピセアローム。安田トリオに逆らってみせるのが、ひねくれ者のパフォーマンスではないかいな。
どうせ金には縁がない。遊びごころが儲けじゃないすか」
そう言っている。
よしっ、本命は関東馬の、蛯名のフィフスペトルだ。蛯名の負けじ魂に願いをかけて。
②―⑦、②―⑪、②―⑮の馬単3点で叫んでみよう。

ダイヤ室

◎セントウルS【7連対】
▼①着馬（1117）、②着馬（1104）。③着以内かセントウルより斤量減：⑪⑮⑯
◎夏の短距離重賞【7連対】
▼今年3勝か重賞V：③⑪
◎その他【6連対】
▼千二GIで連対…該当なし
④外国馬（3011）
▼好走4頭は59キロ以上で①着あり
◆ヒント◆パワーUPした⑪パドトロワ。
⑪→③⑦②⑭⑮⑯

| | | | | | | |